

平成27年度 公益財団法人JKA補助事業の自己評価結果について

平成27年10月30日、「漫画による特殊詐欺等被害防止冊子」作成事業について、全国防犯協会連合会において開催した自己評価委員会の結果をお知らせ致します。

平成14年以降、減少し続ける刑法犯認知件数の中にあって、振り込め詐欺を始めとする特殊詐欺被害は、平成26年末現在、認知件数、被害額とも過去最高となりました。

こうした状況に鑑み、当連合会では、1件でも多くこれら被害防止のための広報啓発用冊子を、公益財団法人JKAの補助により、前年に引き続いて作成致しました。

本冊子は、立正大学 小宮信夫教授の監修によるもので、主な被害者層である高齢者が興味を持ち、読みやすく、理解しやすいように、大きな絵と活字を使用した漫画となっております。

内容は、人気のあるキャラクター達が、騙されそうになった人達に「自らが主導権を握り、真偽を見分ける癖を付ける。」ことを指導すると同時に、詐欺犯人達を懲らしめていくというストーリーとなっております。

本冊子を15万部作成し、全国の都道府県防犯協会に発送致しました。

今後、地域の講習会やイベント等で活用されると思いますが、この冊子を読み、勉強して頂いた方の皆さんが、振り込め詐欺防止リーダーとして、更に本冊子を活用して頂ければありがたいと思います。

本冊子は、できる限り文章を減らし、大きな漫画と文字が直接視覚に訴えて情報を伝えることに主眼を置いている点が、従来の資料と違う点であり、広報啓発活動を行う防犯協会などのボランティアの方にも使いやすい冊子であると評価しております。

本冊子を活用した講習会の開催やイベント等で本冊子を読んで頂くことが、振り込め詐欺を始めとする特殊詐欺被害根絶の一翼になるよう期待しております。